

### ① 土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 150g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとうい
- ・牛糞堆肥 3リットル
- ・肥料 100g

### ② 種まき

- ・新潟では3月～5月（春まき）、9月～11月（秋まき）に種まきを行います。
- ・畝幅50cm程度の畝を作れば、種をまく列の間隔を30cmあけて、二列で栽培ができます
- ・畝に支柱を寝かし、1cm程度の深さの溝を作ります。
- ・溝に1cm間隔で種をまいていきます。
- ・ニンジンの種は「好光性種子」といい、日光を好むので、種をまいた後は薄く土をかけます。
- ・種は鳥の大好物で狙われます。発芽するまでは不織布で覆うと良いです。
- ・芽が出るまでは土を乾燥させないように、毎日水やりをしましょう。

### ③ 間引き・土寄せ・追肥

- ・種をまいて、5日程度で芽が出てきます。種まき後10日くらいで、生育の悪い苗を抜き、苗と苗の間隔を3cmにします（※種をまく時には1cm間隔にしたので、3つのうち1つだけにする。）
- ・大きく育てたい場合は、苗と苗の間隔を6cmにします。
- ・追肥は種まきから20日後、10cmくらいに生長した頃に、周囲の土を耕しながら、30g/㎡を施します。

※間引きとは？ → 苗を抜くことです。せっかく出てきた苗を抜いてしまうのは、かわいそうだと思いますが、成長させるために心を鬼にして、間引いてください。

### ④ 収穫

- ・種まきから30日～50日後に収穫できるようになります。
- ・20～30cmに生長したら、順次収穫します。
- ・収穫は株の根元を切るか、株ごと引き抜きます。その際に、根元付近のピンク色になった部分は栄養満点です。そこを切り落とさずに、おいしく食べてください♪

### 【留意点】

- ・寒冷期の保温について
- 12～2月は雪や寒風で、凍害や葉が黄色になることがあります。寒冷期に育てる場合は、保温対策として、黒マルチを敷き土の温度を上げることと、不織布や寒冷紗をかけたまま育てる。または、トンネルを作ってあげると、保温効果があり、上手に育てられますよ。
- 12月の寒い時期から育てられる品種もあります。「何か育てられる野菜はないかなぁ？」と思ったら、ホームセンター等で寒い時期にまける種を探してみてください。